

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年11月27日 (2014.11.27)

【公開番号】特開2013-33226(P2013-33226A)

【公開日】平成25年2月14日 (2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2012-134033(P2012-134033)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

H 0 4 N 9/31 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 A

G 0 3 B 21/00 D

F 2 1 S 2/00 3 1 1

F 2 1 S 2/00 3 3 0

F 2 1 S 2/00 3 4 0

H 0 4 N 9/31 Z

H 0 4 N 5/74 Z

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日 (2014.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

蛍光基板 3 5 の発光面積をスポット光の面積とすると、 $0.78 \sim 3.14 \text{ mm}^2$ となる。蛍光基板 3 5 は、上記の円形基板である場合に、回転させることにより、励起光による蛍光体の温度上昇を抑制し、蛍光変換効率を安定に維持することができる。蛍光体層 3 3 に入射した光は、緑、赤成分の色光に蛍光変換されて、蛍光基板 3 5 から出射する。また、反射膜 3 2 側に発光する光は反射膜 3 2 で反射して、蛍光基板 3 5 から出射する。蛍光基板 3 5 から出射した緑および赤の色光は、再びコンデンサレンズ 3 0 で集光され、光束 2 9 に変換された後、ダイクロイックミラー 2 8 を透過する。